

仲よく 元気な 宇宿の子

読書旬間を終えて

本校では、6月に10日間の読書旬間を設定しています。この期間に、いろんな読書活動を体験してその魅力や楽しさを実感し、読書を一層好きになってもらうための取組で、梅雨で外での遊びが制限されがちなこの時期の恒例行事となっています。担任の先生や図書委員会による読み聞かせ、お勧めの本の紹介、ブックトーク、読書クイズ、くじ引きなど工夫された活動が展開され、子供たちがますます読書への関心を高めてくれたようです。

6月23日は、この読書旬間のクライマックスで子供たちが毎年楽しみにしている「読書まつり」が行われ、今年も読み聞かせボランティアグループ「くすの木おはなし会」の皆さんが公演を行っていただきました。「へびのいちのすけ」「ブラウンさんとブラックさん」2つのお話の軽妙なトークが終わると、最後に「でんしれんじいさん」の登場です。お皿を入れるだけでどんな料理も見事に作ってしまう電子レンジ「でんしれんじいさん」の活躍に、全ての子供の心が惹きつけられていました。くすの木おはなし会の皆さん、ありがとうございました。

「読む」「話す」「観る」「聞く」など、お話の楽しみ方はいろいろですが、教育という視点で見ると、良質なお話には子供の心身の成長に好影響を与える多くの要素が含まれていることがわかります。中でも、登場人物の立場や気持ちになって物事を考えたり、描写に沿って情景をイメージしたりできるという点で、豊かな情操を育むことのできる優れた教材と言えます。さらに読書となれば、文字を通してお話の世界に入り込んでいかなければなりませんから、読解力や語彙力、文法力など認知能力を高めることができる大変有効な活動の展開が期待できます。子供の時期の読書活動は、その後の成長に大きく関わる経験と言えます。

子供に「読書の好きな人？」と聞いてみたらほとんどが手をあげましたが、数人の子が「あまり好きではない」と正直に答えてくれました。そんな子供たちに、「自分の大切なお金で、好きな本を一冊買って読んでみるといいですよ。」とアドバイスしました。実は、外遊びを優先させていた私が読書に興味を持ち始めたのは、小学2年生の時、学校の紹介でたまたま買ったお年玉図書がきっかけだったからです。この本は、約束を守ることの大切さを教えてくれた物語で、もう絶版になってしまいましたが、子供の頃の思い出とともに60歳になろうとする今でも大切に持ち続けています。このような経験をお持ちの方は私だけでなく、きっとたくさんいらっしゃると思います。

各家庭で、読書に浸れる時間や場所、機会を十分確保してあげてください。そして、読書を通して親子で夢を語り合ってください。今すぐには無理でも、長い年月をかけて子供たちはきっと一歩ずつ夢に向かって行動を始めてくれるはずです。



6月の学校生活...

教育実習がありました

5月29日から6月16日までの3週間、3人の教育実習生がきました。本校の卒業生が自分の夢に向かって頑張っています。



3週間という短い期間でしたが、子供たちとの親睦を深めていました。3人のこれからの活躍を期待しています。

災害に備えて・・・

4日(日)日曜参観に合わせて「災害時等引渡し訓練」を行いました。梅雨はまだしばらく続きそうです。大きな災害がないことを祈りつつ、いざというときに迷わず行動できるよう真剣に取り組む姿が見られました。ありがとうございました。



3年ぶりの親子ふれあい活動

新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされていた親子ふれあい活動が3年ぶりに行われました。6月は1年生と2年生。1年生は七夕づくり、2年生はレクリエーションを親子で楽しく活動する姿が見られました。



国体に向けて・・・

本年度は、「かごしま国体(特別国民体育大会)」「かごしま大会(特別全国障害者スポーツ大会)」が行われます。



本校から6年生が代表して総合閉会式に都道府県応援団として参加します。それに向けて、22日(木)に応援練習が行われました。さくら(写真中央)も来て、子供たちの応援のやる気を盛り上げていました。

7月の主な行事予定	
6	木 学校開放委員会
8	土 土曜授業/ふれあい活動3, 4年
13	木 県民の日
15	土 PTAウォータースプラトゥーン大会
17	月 (祝) 海の日
20	木 一学期終業式
21	金 夏季休業
21	金 水難事故防止運動強調期間
26	水 水泳記録会6年生大会
27	木 水泳記録会5年生大会
8月の主な行事予定	
11	木 (祝) 山の日
13	土 学校閉庁日(～15日)
21	月 出校日

いよいよ学期末を迎えます。大きなけがや病気もなく夏休みを迎えられますよう以下のご留意ください。

○ インフルエンザが流行しています。基本的な感染対策を継続するとともに、休みの日なども人混みを避けるなどの対策をとるようにしましょう。

○ 地域の方から下校時に踏み切り周辺でふざけている子がいるなど情報提供を受けることがあります。安全な下校について家庭でも話をしてあげてください。



